

令和 3 年 度

第 3 回芽室町社会教育委員会議事録

と き 令和 3 年 12 月 21 日 (火)
18 時 30 分～20 時 05 分
と ころ 芽室町役場地下会議室 5・6

芽室町教育委員会生涯学習課社会教育係

○会議次第

1 開 会

2 開会あいさつ 芽室町社会教育委員長 岩野真志

3 報告事項

(1) 生涯学習課所管事務（事業）について

(2) 令和3年度十勝管内社会教育委員長等研修会兼令和3年度十勝管内社会教育委員研修会について

4 説明事項

(1) 令和3年度十勝管内社会教育委員入門研修会について

(2) CSコーディネーターの役割等について

5 その他

(1) 今後の日程について

(2) 今後の社会教育委員会議の開催予定について

①第4回 令和4年2月中旬

②第5回 令和4年3月中旬

6 閉会あいさつ 芽室町社会教育副委員長 島影由里香

7 閉 会

○出席委員

・山川 修・佐々木真里子・福井 邦秋・南舘 直人・島影由里香
・岩野 真志・手島 節子・鈴木 修・高道 豊

○欠席委員

・尾崎 俊明・坂本真智代・嶋野奈津美・佐藤 英樹

○傍聴人 0名

○事務局

生涯学習課長 日下 勝祐

社会教育係長 村島志津佳

CSコーディネーター 吉藤 清孝、高桑 衣佳、芳野 都馬

18時30分 開会

1 開会の言葉

【日下課長】

時間となりましたので、これより第3回社会教育委員会議を開催します。

2 開会あいさつ

【岩野委員長】

先日、十勝管内社会教育委員長等研修会兼委員研修会がオンラインでしたが、開催されました。出席いただいたみなさん、ありがとうございました。

入門研修会については後ほど事務局から説明がありますが、人数制限等をして開催予定です。

本日の会議にはCSコーディネーターの方に出席いただいております。お話をいただき、感想発表や意見交換となります。

行事についても、人数制限などもあり、直接交流する機会もなかなかないとは思いますが、社会教育委員としてあるいは地域の一員として、関わった感想などをお話しいただければと思います。

積極的な発言をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

3 報告事項

(1) 生涯学習課所管事務(事業)について

【岩野委員長】

報告事項について事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

議案3ページから7ページにかけて、10月5日以降の社会教育に関わる出来事を記載しております。主なものをご紹介します。

(主要な出来事として以下を紹介)

- ・10月10日(日)から12月12日(日) 芽室ジモト大学プログラム商品開発
- ・11月3日(水)～5日(金) 第68回町民文化展
- ・11月13日(土)～14日(日) 全町ゲートボール大会
- ・12月8日(水) 十勝管内社会教育委員長等研修会兼委員研修会

芽室ジモト大学プログラムについては、現在、中高生10名がお菓子の商品開発に挑戦しています。12日の講座で商品が完成し、今後、ネーミングやPOPを考え、今冬、販売予定です。12月8日に開催した十勝管内社会教育委員研修会については、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインにて開催されました。

地域学校協働活動関係については記載のとおりです。緊急事態宣言が明けた10月から、活動が増えています。芽室西小学校で行われたファイターズ出前授業や芽室中学校で行われた選挙管理委員会の出前講座と模擬授業、芽室西中学校での全校ゴミ拾いなど、新たな活動も行われました。

【岩野委員長】

事務局から説明がありましたが、質問等がありますか？

→ 特になし

(2) 令和3年度十勝管内社会教育委員長等研修会兼令和3年度十勝管内社会教育委員研修会について

先ほどの事務事業でも報告いたしました。12月8日(水)に2つの研修

を合わせてオンラインで開催しました。

対面で講話等を受け、意見交流というのが社会教育委員の研修の開催方法として良いとは思いますが、本研修会の対象者が十勝管内全市町村であるため、大勢が一堂に会することを避けるため、オンラインでの開催となりました。

【岩野委員長】

事務局から説明がありましたが、質問等がありますか？

→ 特になし

4 説明事項

(1) 令和3年度十勝管内社会教育委員入門研修会について

【岩野委員長】

では、説明事項1について事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

十社教主催の研修会としては、先日行った研修会の他にもうひとつ、入門研修会がございます。新任委員向けの研修内容としながらも、例年、多くの社会教育委員の方々に参加していただいているものです。

先日開催された、十社教役員会にて、今年度の入門研については、対象を令和2年度と3年度に新しく社会教育委員になられた方に限定し、対面で開催することが決定いたしました。この2年間で新たに社会教育委員となられた方は、管内で77名です。平日の昼間開催ということもあり、参加者を半数程度と考え、公民館の行動での開催とすると、対面でも開催可能と判断いたしました。

日にちは、令和4年2月2日（水）で、内容は講話とグループワークを予定しております。

参加対象は新任委員となりますが、芽室町で開催するということもあり、みなさま方には、開催に係る当日の会場設営や受付などのお手伝い、また、グループワークの際のファシリテーター的な役割を担っていただきたいと思いますと考えております。

詳しいことが決定いたしましたら、案内を差し上げますので、よろしく願いいたします。

(2) CSコーディネーターの役割等について

【岩野委員長】

では引き続き、説明事項2について事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

昨年度から地域学校協働活動を行っております。コーディネーターから、主に昨年度と今年度の取組みの紹介とコーディネーターとして思うことについてお話をさせていただき、その後、意見交換を行いたいと思います。

まず、3名のコーディネーターから自己紹介をいたします。

(3名 自己紹介)

では、正面のスライドにより、高桑からお話しいたします。

～高桑コーディネーターがスライドにより活動紹介

資料による説明は、以上です。

教育委員会で推し進めている地域学校協働活動でもございますので、質問や提案、またはスライドを見ての感想でも構いません、ここからは、ざっくばらんに社会教育委員とCSコーディネーターで意見交換を行いたいと思います。

【福井委員】芽小の学芸会で駐車場整理をして、そのあと、体育館で学芸会を見学した。何十年かぶりに学校へ入り、子どもの活動の様子を見た。子どもたち、学校への見方が変わり、さらに支えたいという気持ちになった。

【佐々木委員】オークルでボランティアを行っている。活動報告を見ると、障がい者との交流等については取り組んでいないように見える。障がい者と一緒の活動についても、今後入れていければいいなと思った。

【芳野コーディネーター】昨年度、芽室西小学校の特別支援学級の児童とスカイアースからの指導者で、活動を行った。

【村島係長】学校からの依頼、また、コーディネーター側から提案できるものがあれば取り組んでいきたい。

【島影委員】2年くらい前の研修会でCSが話題となった。どの町も学校運営協議会に社会教育委員が必ず入っているというわけではなかった。CSの情報を知らない社会教育委員がたくさんいた。自分は学校運営協議会に入っていないので、CSの情報が入ってこなかったという人が多くいた。自分は学校運営協議会に入っているが、協議会でCSについて話してほしいといわれてもすべてを理解できていない。もっとCSについて社会教育委員会に情報提供してほしい。CSコーディネーターと社会教育委員で情報共有して、今後活動を行っていきたい。

【村島係長】コーディネーターの活動については、CS通信により情報提供しているが、その他についても検討する。

【島影委員】ボランティアの様子を写真で見たが、教員の負担軽減にどれほどつながっているか実感がわからない。出席委員に先生がいらっしやいますので、お話を聞かせていただきたい。

【山川委員】ここにある活動は全て助かっている。

特に、今年はタブレットのシール張りやセッティング。芽室小学校は、児童数十予備機で700台ほど。箱出しからセッティングまでの作業を教員だけで行うとしたら、もっと時間がかかった。教員が忙しい時期だったため、コーディネーターを通じボランティアの方々にお願いし、1日半ですべての機器のセッティングまで終了し、助かった。

コロナ禍で学芸会の観覧を保護者1名と制限していたので、地域の人にとんどん来てほしいと言えなかった。ボランティアをしてくださった方につい

ては、子どもたちの様子をトレーニング室から見てもらった。
参観日でも、どうぞ来てください、と言える状況ではなかった。

【日下課長】コーディネーターから、学校現場での先生方の反応があれば。

【芳野コーディネーター】西小でのプールの授業での活動について、2クラス一緒に行く。担任の先生が2～3人で50人くらいを見ることになる。ボランティアさんに来てもらい、プールサイドから子どもたちに危ない様子はないか見守りと声掛けを行ってもらった。活動後に先生方から、助かったと言われた。

【高桑コーディネーター】南小でのミシンの見守りについて、5年生が初めてミシンを使う際、先生が1人で児童が8台のミシンを一斉に走らせる。布のセッティングや縫う箇所を間違えたりし、先生1人で全部を見ることができない。ボランティアさんが子どもたちを見て回り、声掛けをしていた。学校はたくさんの子たちが安全に過ごす場所であるため、複数の大人の目があることを先生方が助かっているように見えた。

ボランティアさんが、「自分は何もしていないのに役に立ったのか？」という気持ちを持ったということに関しては、私たちコーディネーターが先生方の声を伝えるなど、もっとボランティアさんと関わらなければならないのだと思った。

【吉藤コーディネーター】昨年度まで教員だったので、教員の立場からは本当にありがたい。子どもの数が多く、どうしても目が行き届かない場面がある。

コーディネーターとして担当している上美生区は、人数的なことを言うと非常に少ない。そのため、上小・上中とのやり取りの中では見守りなどの安全面より、ゲストティーチャー的な相談が多い。例を挙げると、上中から上美生区ではない人で農業をやっている人を紹介してほしいと相談があり、社会教育委員でもある高道さんを紹介した。学校からは、顔見知りでない人の話で、農業に関わっている人の話は、子どもたちにとって非常に良かったと言われた。

【高道委員】この経験を通し、自分を一度見つめなおして、自分自身成長できたと思う。

コーディネーターが地域にどこまで踏み込んできっかけを作っていくか。ボランティアの声掛けをしてもらって活動のチャンスをもらうと、自分でも楽しい。ボランティアの人をもっともっと掘り起こしていくことが大事。若い人は仕事で忙しいとは思いますが、こういうことに関わっていくことが大事なのではないかと思う。

【手島委員】私自身ボランティア活動を楽しんでいる。ボランティアをしてなければ、子どもたちに関わる機会もない。

先日の研修会でも話をしたが、高齢者もボランティア活動に使っていただけたらいいなと思っている。町内会単位で何かの折に声をかけていけば、何

かできる人がいるのでは。

【高桑コーディネーター】麻生町内会にあいさつ運動の声掛けをさせていただき、活動いただいている。錦町も町内会長さんに声掛けをし、町内会単位で活動するものかというのを見ていただいている。

ボランティア活動の声掛けについては、町内会単位がいいのか、サークル単位がいいのか、今、両方行っている状態。

【手島委員】現在のボランティアは68名とのことだが、学校から依頼がある中で、この人数でやっていけているのか。

【高桑コーディネーター】今のコロナ禍での活動においては、ボランティアの人数が多すぎるも足りないもない。今後、コロナが落ち着いているんな依頼があると、登録者数がもう少し多くなってほしいとなるかもしれない。

あまり活動がない中で声掛けをしても、反応がない。具体的な依頼が舞い込んできたときの方が、声掛けして増やせると感じる。

【手島委員】CSについては、ボランティアなどで関わらなければ本当にわからない。CSってこういうものですよ、とPRした方がよいのでは。

【島影委員】PTAとのつながりはあるのか？ボランティア活動で、若い人にお会いしたことがあまりない。PTAの若い保護者が、昼間子どもが学校に行っている間にお手伝いというのでもできるのでは。もっとCSのPR、存在を呼びかけたらいいのでは。登録にもつながるのでは。若い人は一人では手を挙げない。友達と一緒になら登録につながるかも。CSももっと活気がつくのでは。

【村島係長】今年度、PTA総会などにお邪魔させていただき、コーディネーターからCSについてお話をさせていただこうと計画していたが、コロナの影響で書面開催となった。タイミングが合った家庭教育学級では、お話しさせていただいた。

【吉藤コーディネーター】コーディネーター3人の打合せの中で、やっぱりPTA総会でお話を・・・という話になっていた。

【高桑コーディネーター】まずはPTAの役員会へのあいさつができれば。役員の方に先に知っていただくのがいいのかなと思う。芽小は学校だよりも学校支援ボランティアの記事を掲載いただいている。

【島影委員】活動を広く、浅く、広げていくよう、来年度取り組んでいただけたら。

【山川委員】CSということでいろんな活動いただいているが、学校により活動が違う。例えば、芽小で保護者に集っているものが、他の学校ではボランティアとか。芽小での活動もPTAとボランティア、どちらがいいとは言

えない。考えていくのがいい。

【鈴木委員】なかなかCSの理解が進んでいない。芽室は写真を見て、いろいろやってるなと思った。戦争パネルの展示で意見をいただいているか。

【高桑コーディネーター】パネルの展示と引き上げの時に提供いただいた方と学校を訪れた。展示を見てこういうことを生徒が言っていた、という言葉も聞いてもらった。

【鈴木委員】自分が小さい時と今は遊びの内容が違う。ボランティア活動として昔あそびなどをやってみては。

【芳野コーディネーター】昔あそびの活動をやってみたいと思っている。町内会やボランティアさんの中で、やってみたいという声があるので、活動として行いたいと思う。

【南館委員】CSに関して、P連文教懇談会でCSをテーマとした講演を行った。CSって何だろう？から始まった。

いろいろ活動していただいて、PTAとしても助けてもらっている部分もあると思うが、PTA活動として行っているものと重なるものもある。西小のあいさつ運動も、PTAとボランティアで大人数となっている。

CSって何だろう？ということが周知されていないので、それを広めていくのが課題かなと思う。PTAの保護者に登録いただくのが一番いいとは思いますが、ボランティア活動を行う時間帯に働いている方もたくさんいるので、そこも難しい。

【岩野委員長】CS自体はH31からの取組み。ボランティア活動はR2からの取組み。

ボランティア活動が学校の先生方の助けになる、というのが大きなきっかけになっている。

コロナの影響を受けながらも、活動を行っている。活動後に評価として戻ってくるものがあると、なおさら自分としてのやりがいを感じる方がいるのでは。実際やった人にとっては感想などを聞かせてもらおうと、例えマイナスな意見ことでも活動を見なおすことにつながるのでは。

【高桑コーディネーター】ボランティアの方に安心して活動いただくことがこれから大事。コーディネーターとボランティアとのコミュニケーションの取り方がキーになると皆さんの話を聞いて思った。

ボランティアの方の活動が教員の負担になっているのでは・・・とボランティアの方が不安を感じる部分は、私たちがフォローするところだと思った。

【芳野コーディネーター】コーディネーターとして活動し、なかなか思うように進まない時もあるが、皆さんに支えられていると感じて活動している。快く受けていただきありがたく思う。CSって何？という部分については、いろんな方法を使って広報していきたい。

【日下課長】「地域と学校がともに協力しあって活動」、「地域コミュニティの活性化」、「教員の負担減」。これが社会教育であるので、多くの人にわかっていただけるよう活動をしていく。実際にやっているものを見てもらって理解していただく。学校現場も管理職以外の一般の先生にどこまで理解いただいているか。社会教育として何ができるか、整理していきたい。

5 その他

(1) 今後の日程について

【岩野委員長】

事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

今後の日程につきましては、先ほどお伝えした、令和3年度十勝管内社会教育委員入門研修会が令和4年2月2日（水）に開催されますので、みなさま、予定をしておいていただけますと幸いです。

(2) 今後の社会教育委員会議の開催予定について

【岩野委員長】

続けて事務局より説明をお願いします。

【村島係長】

今後予定しております社会教育委員会議は、議案に記載のとおりです。来年2月中旬に予定されている第4回会議においては町教育委員会で例年贈呈している文化賞・スポーツ賞の受賞者について審議いただく場となるのでご承知おきください。3月中旬の第5回目会議については、主に新年度の予算、事業概要の説明となります。

6 閉会あいさつ

【島影副委員長】

他町の委員との研修会の度に、CSがわからないという人がいるので、芽室町の委員がグループワーク等で第一声を発することができるようになっていきたい。CSで学校の子供たち、先生たちを守っていけるよう、楽しい学校生活が送れるよう、社会教育委員も積極的にコーディネーターのお手伝いをしていけたらいいと思う。

閉会 20時05分 終了